

「指切りげんまん」

作 入戸野 くるみ / 絵 花松 あやか



すみません
これからやります！

入戸野さん
シート交換
終わった？

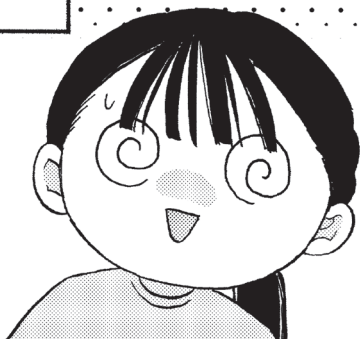


私は介護福祉士として
働き始めて半年が経つ
新卒者です

仕事が多くて
目が回る

覚える事も
やる事も多く

毎日の業務に
追われる日々です





先輩達は
テキパキしてて
すごいなあ…

そんな
ある日



あれ？



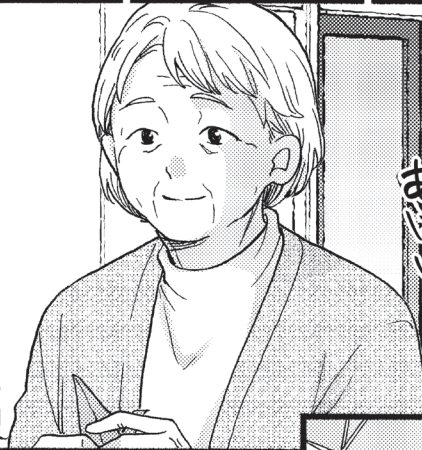
今日ってお泊まり

Nさんだけ
なんですね

そうみたいね



これじゃ
職員の方が
多いわねー



施設のお泊まり

利用者が

Nさんしかおらず

職員の数の方が
多かった日が
ありました



じゃあ私も通り
掃除やっちゃいます
ね

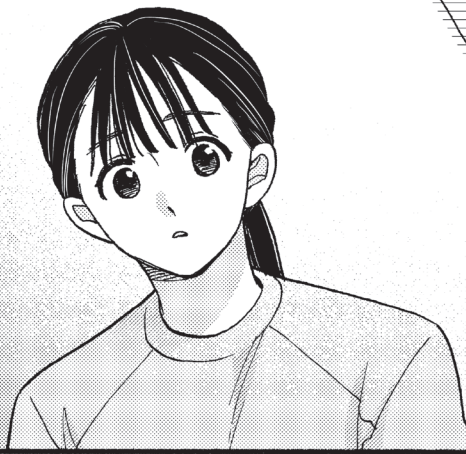
あつ！
入戸野さん



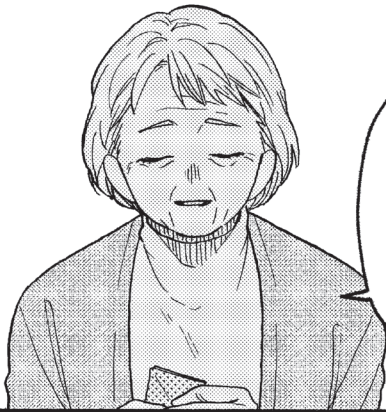
Nさんと
お話してて

コミュニケーションを
図るのも仕事だからね





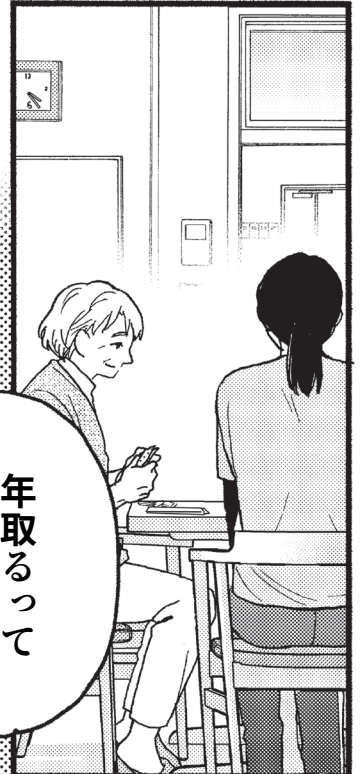
Nさんは
ご自身の今の不安や
葛藤^{かつとう}を話し始めました



息子夫婦は
よく気にかけて
くれるけど
負担に
なっちゃってるんじゃないかって



こういう時
なんと返すべきか
わかりません



年取るって
嫌ねえ…



私はNさんの話に
耳を傾け、
相槌を打つことしか
できませんでした



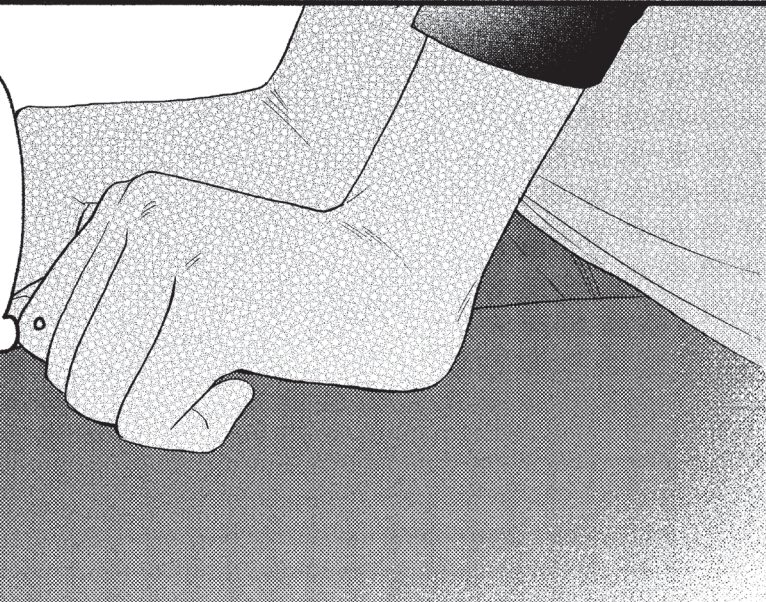
先輩職員は
利用者さんと
話をする時

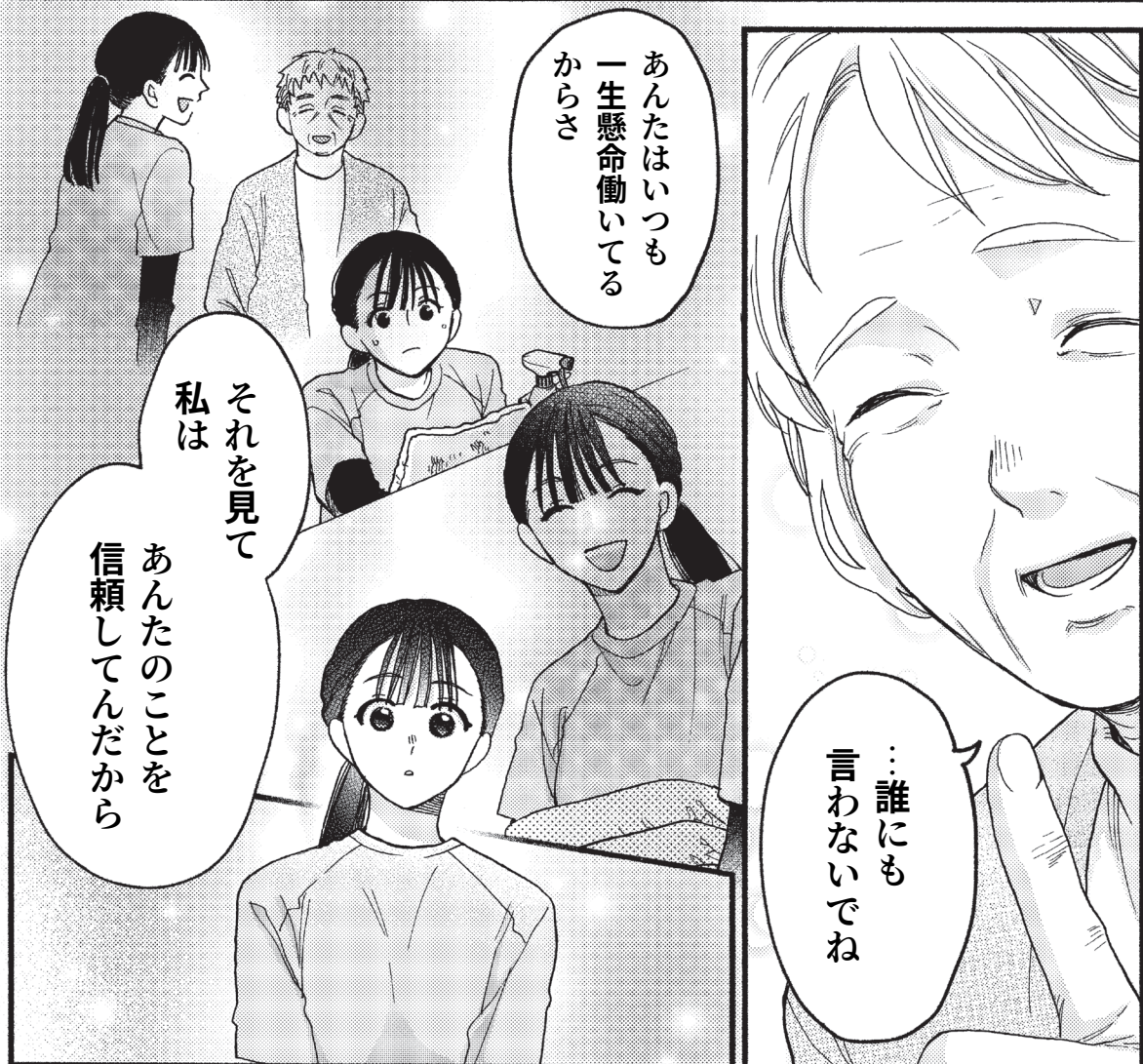
寄り添い

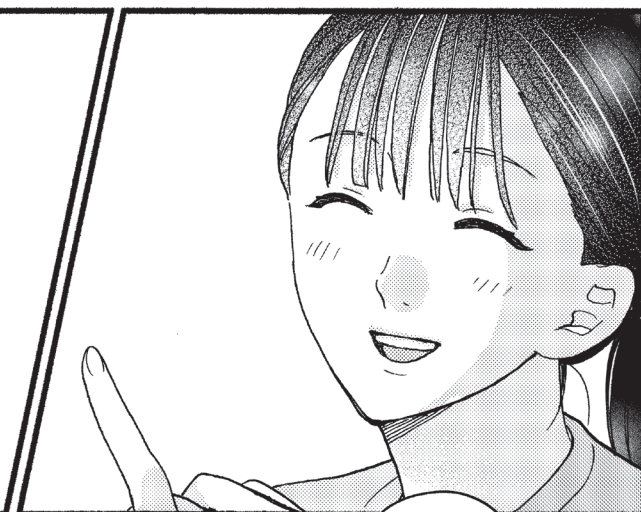
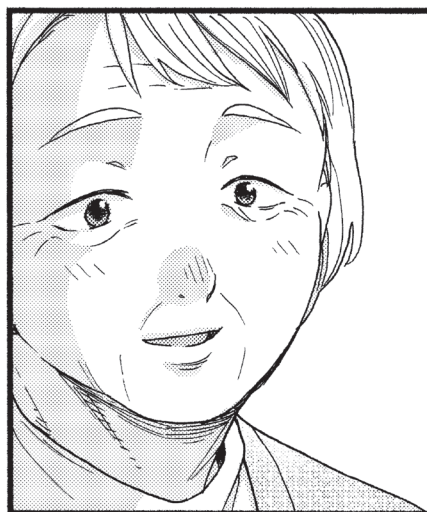
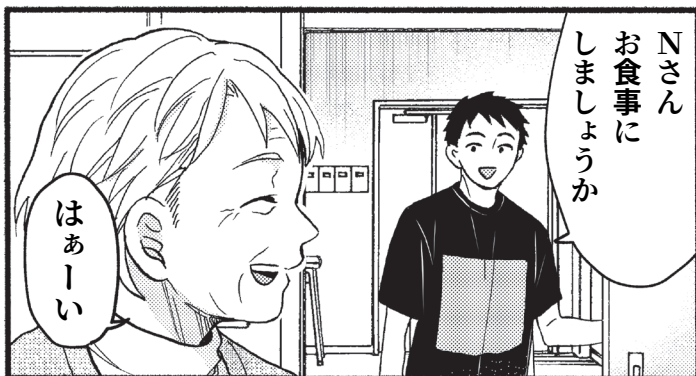
その時に
かけて欲しいと思う
言葉をかけています



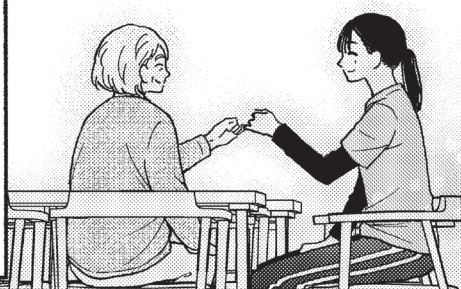
…気の効いた
言葉の一つも
言えない……



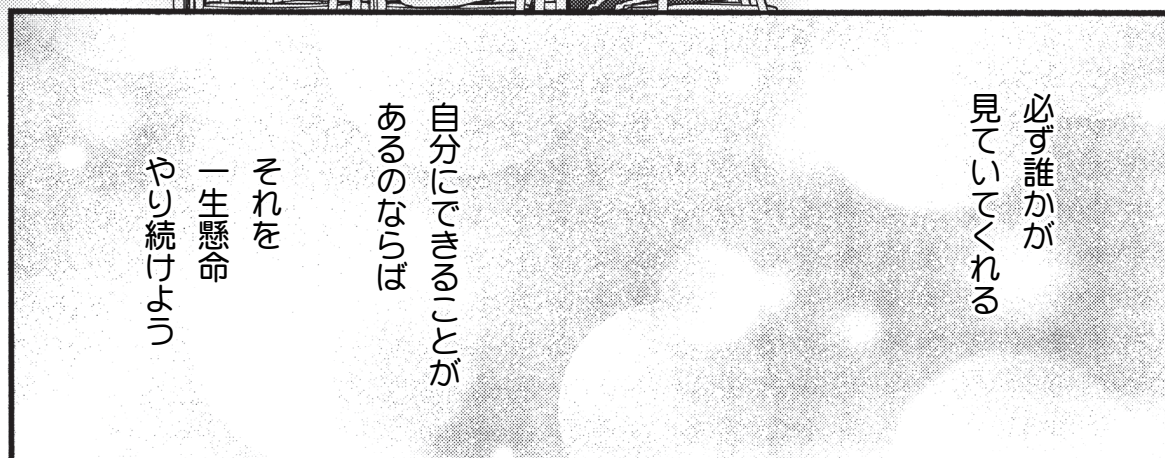




Nさんは
私が今欲しかった
言葉をくれました



指切りげんまん



必ず誰かが
見ていてくれる

自分にできることが
あるのならば

それを
一生懸命
やり続けよう



そう学ぶことが
できた日に
なりました

これから何事にも
一生懸命頑張って
いきたいと思います

やまなし介護感動ストーリー大賞 グランプリ作品

「指切りげんまん」 入戸野^{いっどの}くるみさん

私は、介護福祉士として働き始めて半年が経つ新卒者です。
ある日、お泊まりが利用者Nさんしかおらず、職員の数の方が多かった日がありました。私はいつも通り掃除を始めようとしていましたが、先輩職員に「利用者Nさんとお話して。コミュニケーション図るのも仕事だからね。」と言われ、先輩職員に申し訳なさを感じながらも、利用者Nさんのもとへ行きました。

最初は世間話から始めましたが、Nさんの方からご自身の今の不安や葛藤を話し始めました。私はその方の話に耳を傾け、相槌を打つことしかできませんでした。先輩職員は利用者さんと話をする時、寄り添い、その時にかけて欲しいと思う言葉をかけています。しかし私はいつも、利用者さんの話を聞くだけです。その時も、Nさんが話をしてくださる中で、自分の不甲斐なさを感じていました。するとNさんが、「私はあんなこと信頼してるから誰にも言わないでね。」と笑顔で言うてくださり、その後もNさんは、「あんなはいつも一生懸命働いてるから、それを見て私はあんなを信頼してるんだよ。」とNさんから私が今欲しいと思った言葉を言ってくださいました。私は嬉しくなり、小指を差し出して指切りげんまんをしました。

自分にできることがあるのならば、それを一生懸命やり続ければ、必ず誰かが見てくれている、ということを学ぶことができた日になりました。これからも、何事にも一生懸命頑張っていきたいと思います。